

## 社会资本総合整備計画 防災・安全交付金

令和02年01月23日

計画の名称	鹿児島県における大規模盛土造成地の耐震化の促進（防災・安全）											
計画の期間	平成31年度～令和05年度（5年間）											
交付対象	鹿児島県、鹿児島市、霧島市、南さつま市、鹿屋市、薩摩川内市、曾於市、南九州市											
計画の目標	大規模盛土造成地の変動予測調査（第一次スクリーニング）を行い、その結果を基に大規模盛土造成地のマップ作成及び情報提供することにより、県民の防災意識の向上を図る。 また、大規模盛土造成地マップについて、現地確認及び造成年代調査等を行い、精度の向上を図る。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	444	A	444	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式		定量的指標の現況値及び目標値	
	当初現況値	中間目標値	最終目標値	(R5末)
1	・鹿児島県全域における大規模盛土造成地の変動予測調査完了の市町村の割合 県内市町村数や事業実施状況を基に算出する。 (大規模盛土造成地の変動予測調査完了率) = (完了市町村数)／(県内43市町村)	42%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靭化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
・当初現況値について、大規模盛土造成地が存在しない18市町村は、H30年度に存在しないことを確認し、H30年度末に公表済。・県の調査対象市町村数=21市町												

A 基幹事業																
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）	全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画定状況	
		一體的に実施することにより期待される効果														
		備考														
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	—	—	大規模盛土造成地の変動予測調査	・国の調査により抽出された大規模盛土造成地の現地確認 ・大規模盛土造成地の台帳作成	21市町	■ ■			64	—
	A13-002	宅地耐震	一般	鹿児島市	直接	鹿児島市	—	—	大規模盛土造成地の変動予測調査	・大規模盛土造成地マップの作成及び公表・大規模盛土造成地の台帳作成	鹿児島市	■ ■ ■ ■			137	—
	A13-003	宅地耐震	一般	霧島市	直接	霧島市	—	—	大規模盛土造成地の変動予測調査	大規模盛土造成地の台帳作成	霧島市	■ ■ ■			20	—
	A13-004	宅地耐震	一般	南さつま市	直接	南さつま市	—	—	大規模盛土造成地の変動予測調査	大規模盛土造成地の第二次スクリーニング	南さつま市	■ ■ ■			141	—
	A13-005	宅地耐震	一般	鹿屋市	直接	鹿屋市	—	—	大規模盛土造成地の変動予測調査	大規模盛土造成地の台帳作成	鹿屋市	■			6	—
	A13-006	宅地耐震	一般	薩摩川内市	直接	薩摩川内市	—	—	大規模盛土造成地の変動予測調査	大規模盛土造成地の台帳作成	薩摩川内市	■			13	—

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画定状況	
												H31	R02	R03	R04	R05				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
市街地整備事業	A13-007	宅地耐震	一般	曾於市	直接	曾於市	—	—	大規模盛土造成地の変動 予測調査	大規模盛土造成地の第二次ス クリーニング	曾於市			■	■	■	38		—	
	A13-008	宅地耐震	一般	南九州市	直接	南九州市	—	—	大規模盛土造成地の変動 予測調査	大規模盛土造成地の第二次ス クリーニング	南九州市			■	■	■	25		—	
												小計						444		
												合計						444		

## 交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H31	R02			
配分額 (a)	49	113			
計画別流用増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	49	113			
前年度からの繰越額 (d)	0	5			
支払済額 (e)	44	96			
翌年度繰越額 (f)	5	22			
うち未契約繰越額(g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えてる場合の理由					

## 事前評価チェックシート

計画の名称：鹿児島県における大規模盛土造成地の耐震化の促進（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①計画の目標が基本方針と整合している。	<input type="radio"/>
I. 目標の妥当性 ②関連する各種計画（地域防災計画等）との整合が確保されている。	<input type="radio"/>
I. 目標の妥当性 ③数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性 ①事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性 ②十分な事業効果が得られることが確認されている。	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性 ③事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。	<input type="radio"/>
III. 計画の実現可能性 ①事業熟度が十分である。	<input type="radio"/>
III. 計画の実現可能性 ②計画に記載された事業に関連する地方公共団体等の理解が得られている。	<input type="radio"/>